

2018年6月期第3四半期 決算説明資料 (東証一部 3916)

2018年5月18日

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



1. 事業の概要

2. 2018年6月期第3四半期 決算概要

3. 2018年6月期 重点施策と
通期連結業績予想

4. 参考資料

DITグループの顧客基盤

主にB to B / 取引先（2,600社弱）は、
上場企業 及びその関連会社から中小企業

開発したソフトウェアの主な用途

金融、通信、運輸、流通等の業務システム
自動車、モバイル端末、ネットワーク機器等の組込みシステム

DITグループの強み① 多面多様のIT企業

- ① 業務システムの開発・運用、組込みシステムの開発・検証と事業領域が広い
- ② お客様層が、大企業から中小企業まで幅広い
- ③ 独自性があり、今後市場拡大が期待できる自社商品がある

DITグループの強み② 部分最適と全体最適の組織戦略

- ① 部分最適に関しては、専門特化したカンパニー制を導入。その領域でのNo.1を目指すとともに、経営者人材を育成している
- ② 全体最適に関しては、本社・本部がカンパニーのシナジーを追求している

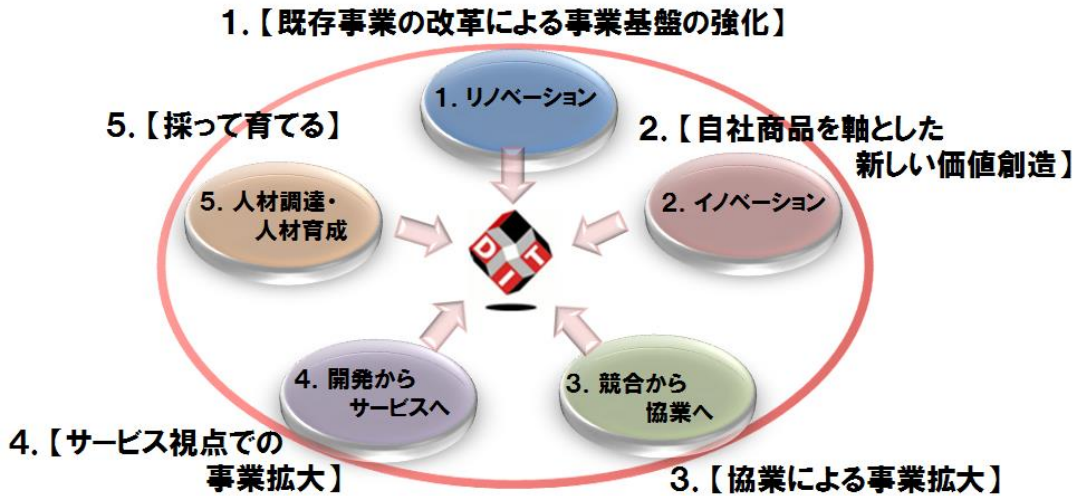
企業理念	全体	顧客起点
	会社	育成、コミュニケーション
	個人	付加価値向上、目的目標をもつ、熱い情熱をもつ

経営理念	社員の生活を守り、 且つ社会に貢献する
------	------------------------

中期経営方針 付加価値の追求と変化対応への取り組みから、
経営の安定成長を目指す

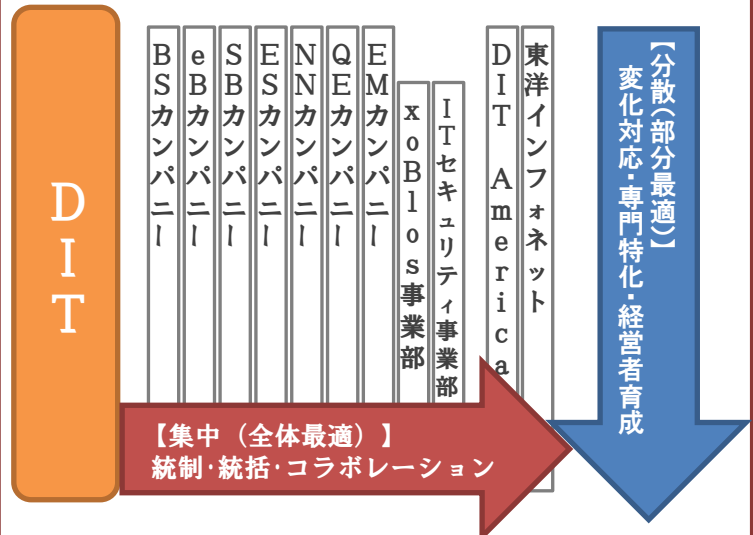
5つの基本的な事業戦略

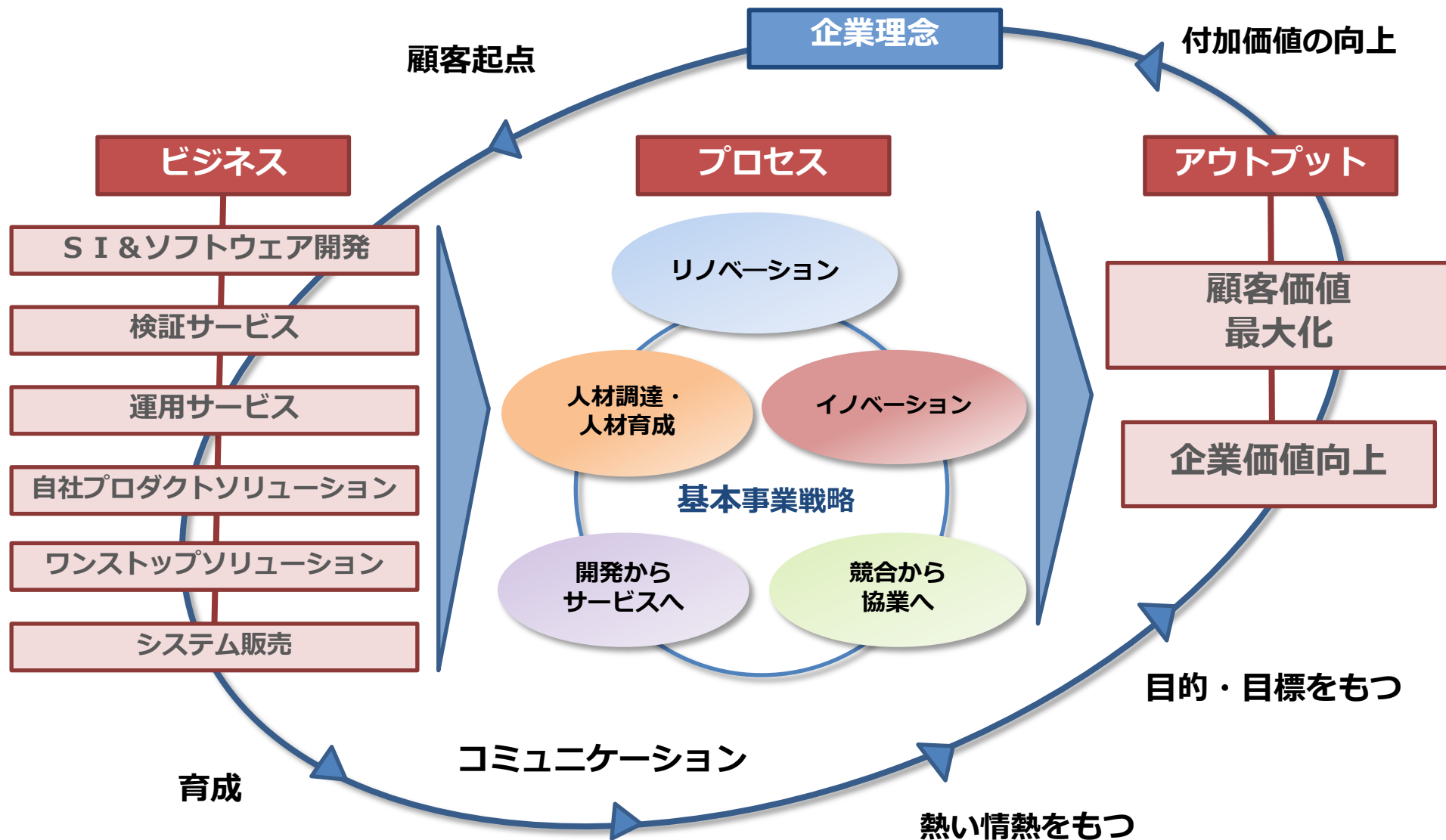
事業戦略



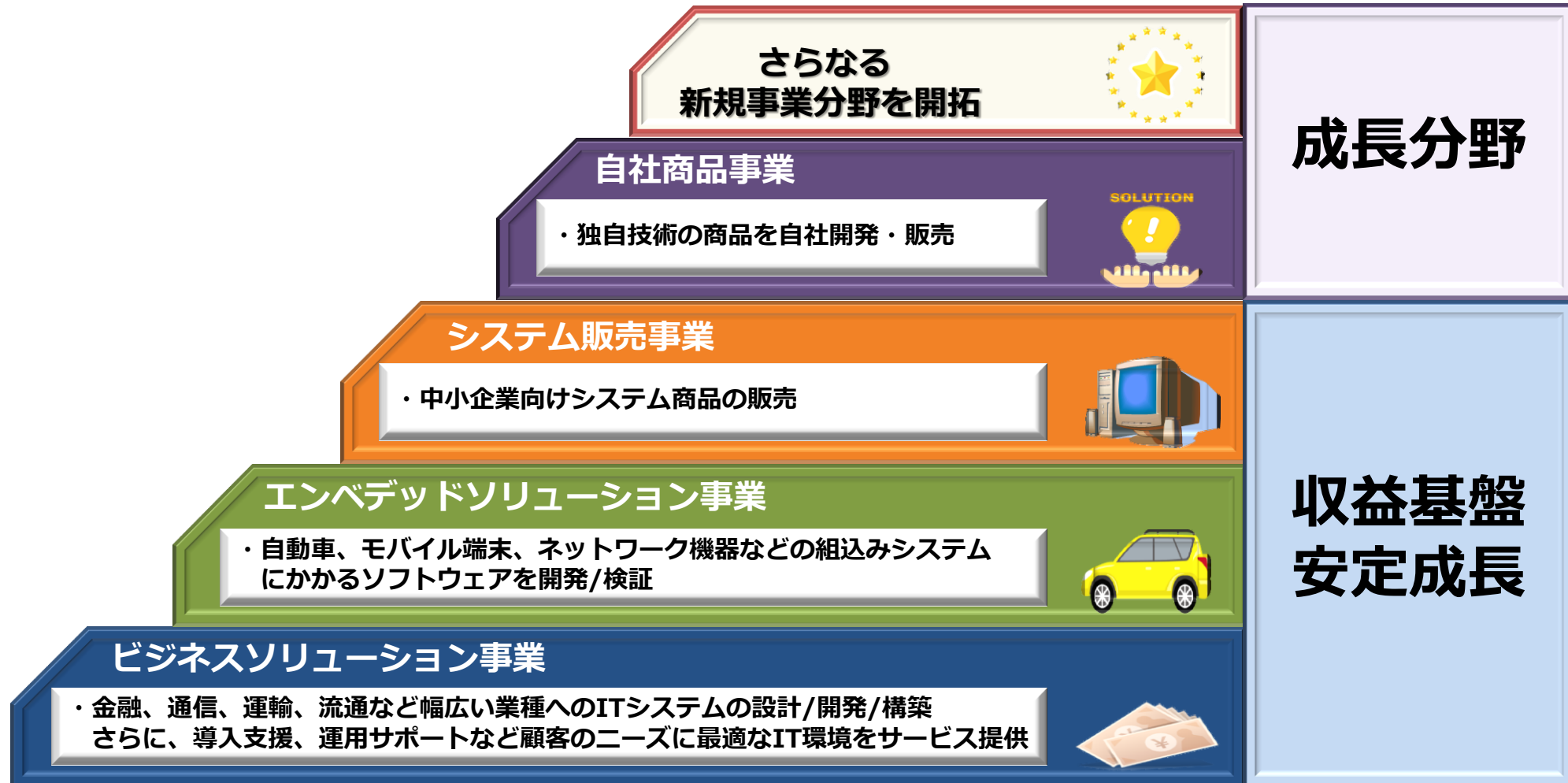
分散（部分最適）と集中（全体最適）の組織戦略

組織戦略





セグメント		売上構成比 (18年6月期 第3四半期)	事業分野
ソフトウェア 開発事業	ビジネスソリューション	58.1%	業務システム開発事業
			運用サポート事業
	エンベデッドソリューション	32.7%	組込み開発事業
			組込み検証事業
自社商品事業	3.5%	自社商品開発販売事業	
システム販売事業		5.7%	システム販売事業



デジタル・インフォメーション・テクノロジー事業基盤

技術力 = 「業務知識」 × 「開発力」 × 「コア技術」

知的財産 = 「業務経験」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理」

1. 事業の概要
- 2. 2018年6月期第3四半期 決算概要**
3. 2018年6月期 重点施策と
通期連結業績予想
4. 参考資料

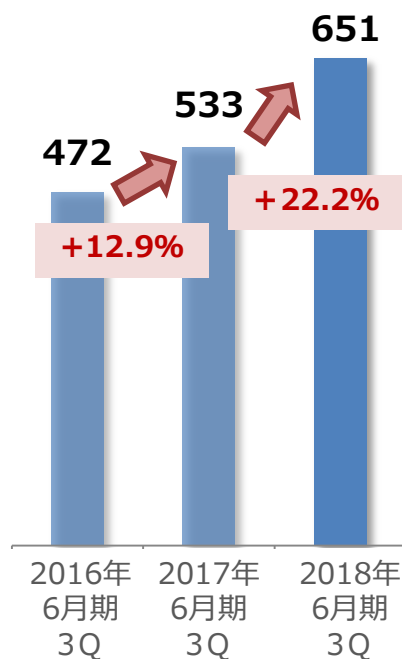
■ 二桁増収・増益、第3四半期累計期間としては過去最高の業績を更新

単位：百万円

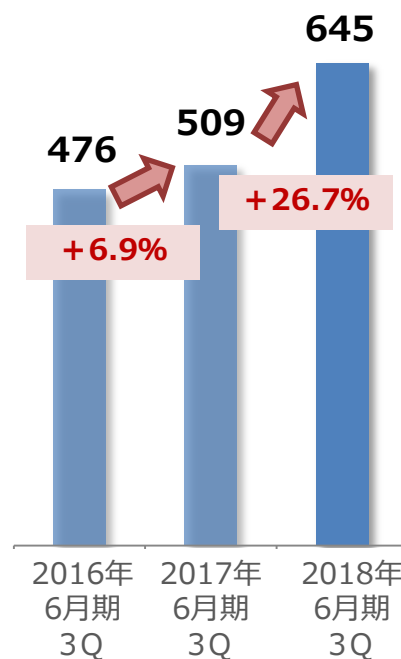
売上高



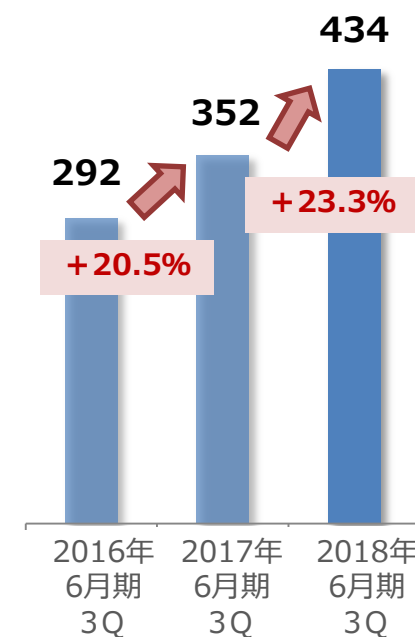
営業利益



経常利益



四半期純利益



2018年6月期第2四半期連結業績の概要

■ 売上高、段階利益共に利益率を含め前年同期を上回り、計画以上に進捗

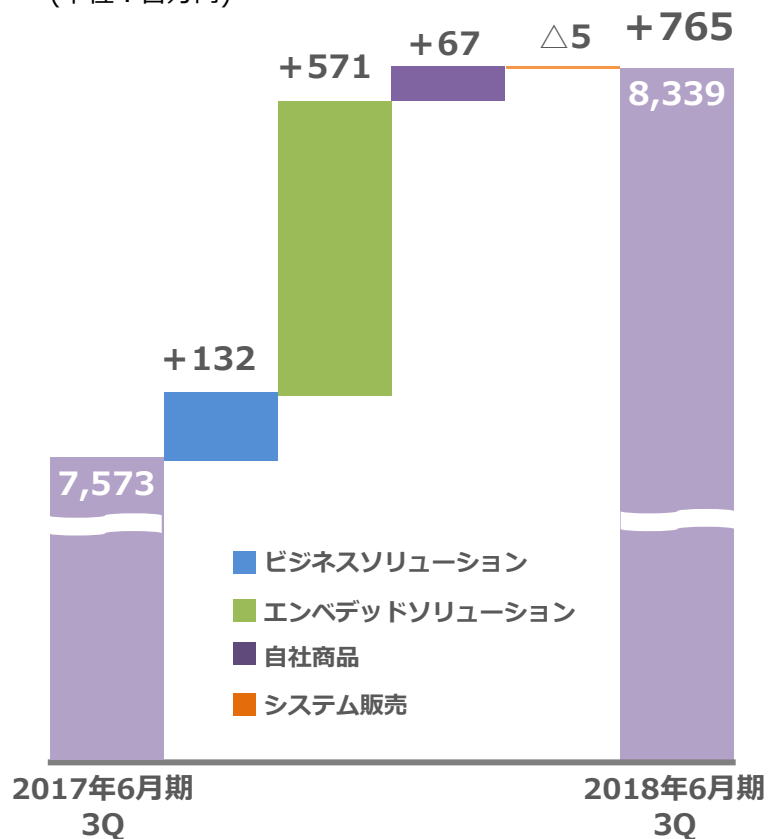
(百万円、%)	2017年6月期 第3四半期		2018年6月期 第3四半期		2018年6月期 通期		前年同期比 (%)	達成率 (%)
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	計画	構成比 (%)		
売上高	7,573	(100.0)	8,339	(100.0)	10,820	(100.0)	+10.1	77.1
売上総利益	1,788	(23.6)	1,969	(23.6)	—	—	+10.1	—
販売管理費	1,255	(16.6)	1,318	(15.8)	—	—	+5.0	—
営業利益	533	(7.0)	651	(7.8)	730	(6.7)	+22.2	89.2
営業外収益	5	(0.1)	7	(0.1)	—	—	+38.0	—
営業外費用	29	(0.4)	13	(0.2)	—	—	△52.5	—
経常利益	509	(6.7)	654	(7.8)	725	(6.7)	+26.7	89.0
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—
税金等調整前当期（四半期） 純利益	509	(6.7)	654	(7.8)	—	—	+26.7	—
当期（四半期）純利益	352	(4.6)	434	(5.2)	493	(4.6)	+23.3	88.1

売上高、営業利益増減要因（前年同期比）

- 売上高はエンベデッドソリューション事業の伸長が大きく貢献
- 売上総利益の増加が販管費の増加を相殺し、営業利益は前年同期比22.2%増

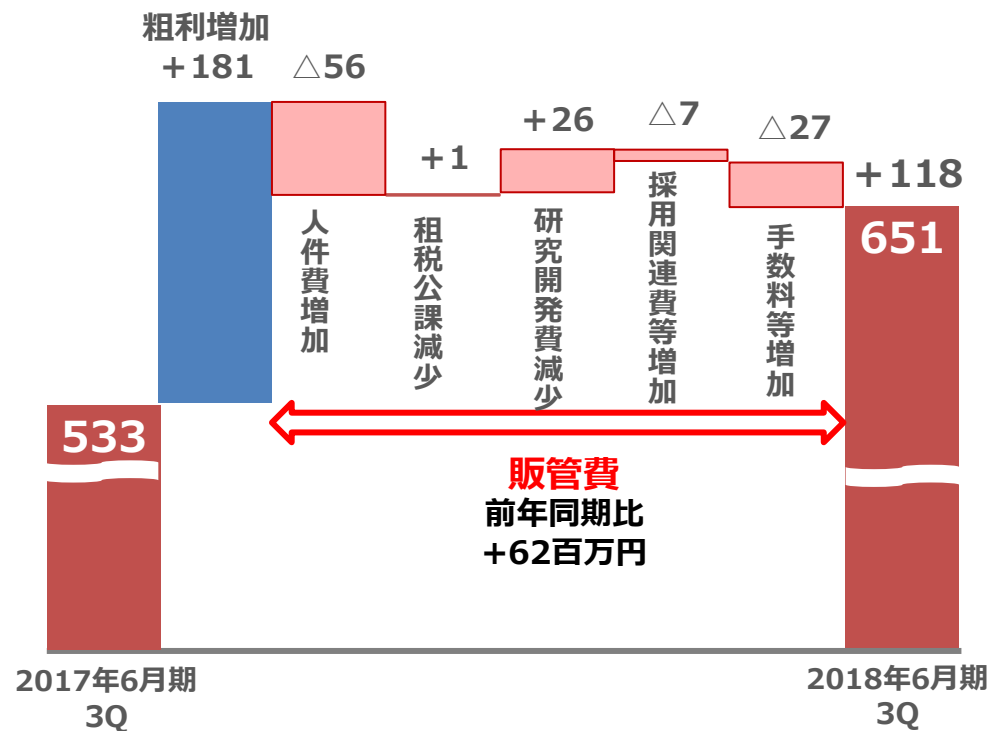
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

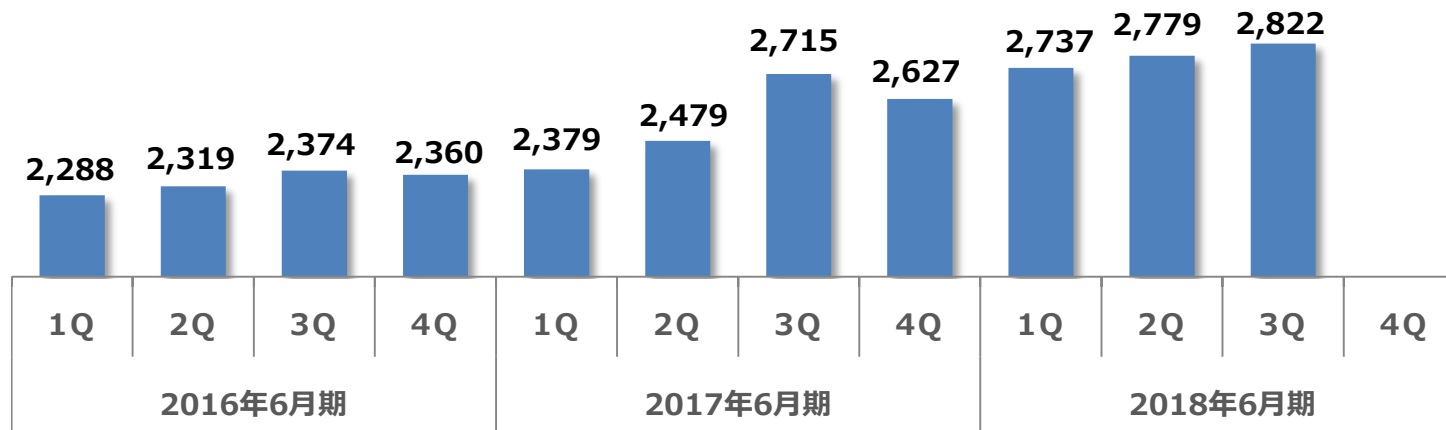


四半期別売上高および営業利益の推移

■売上高・営業利益ともに着実に前期を上回る推移

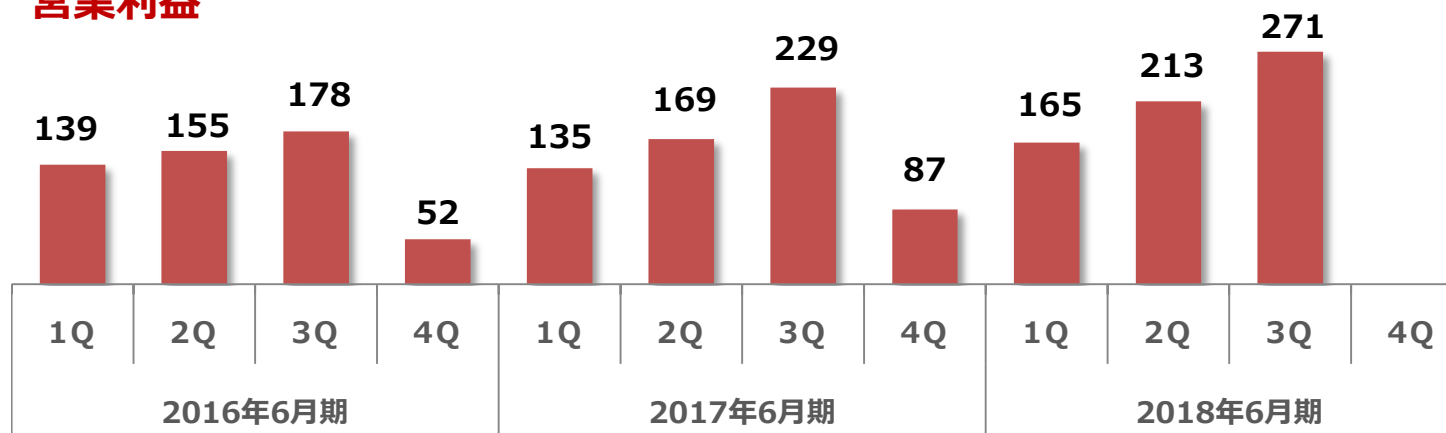
売上高

単位：百万円



営業利益

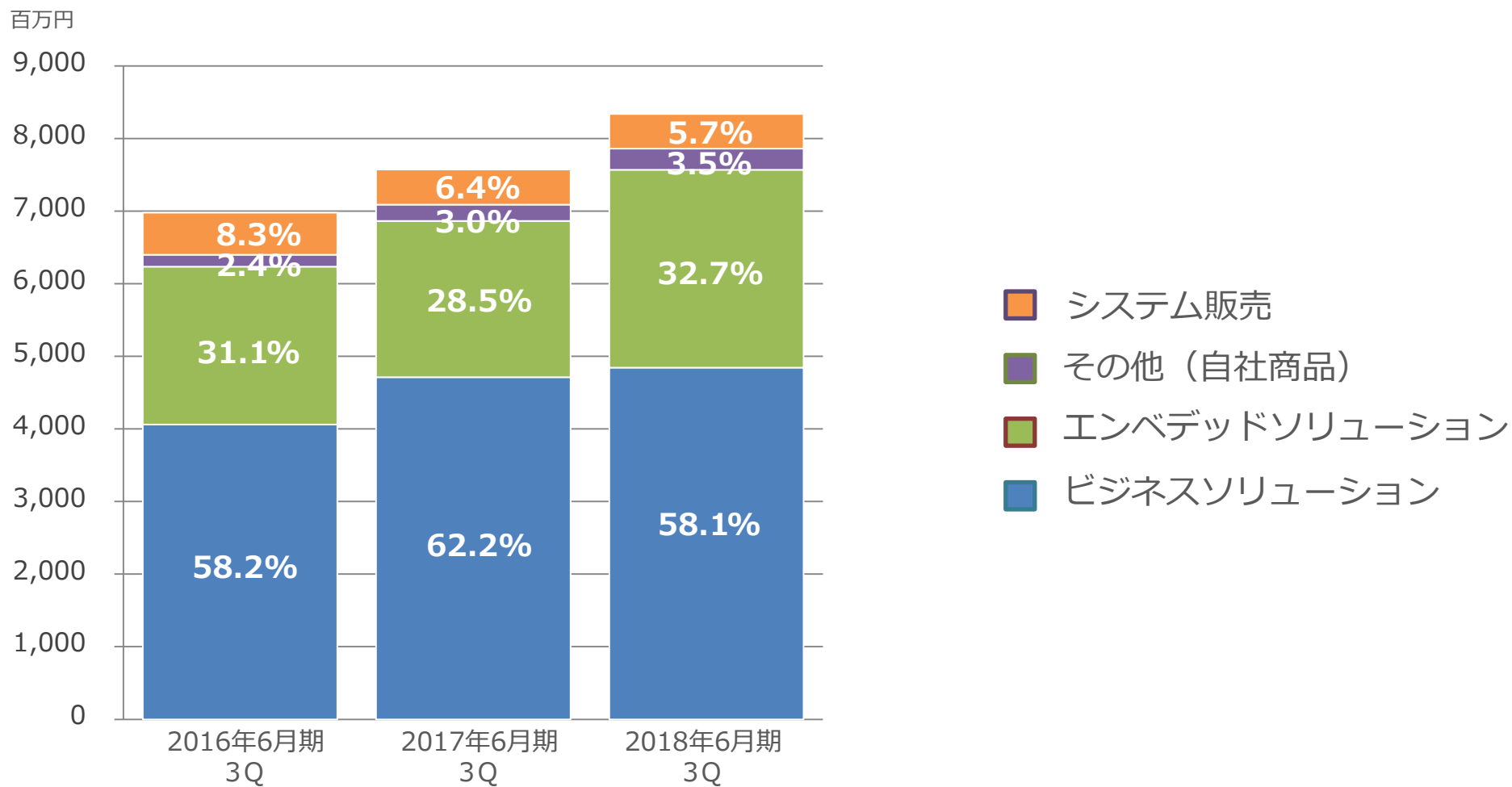
単位：百万円



※営業利益は、新入社員の受け入れ、期末手当等で、第4四半期に減少する季節性あり

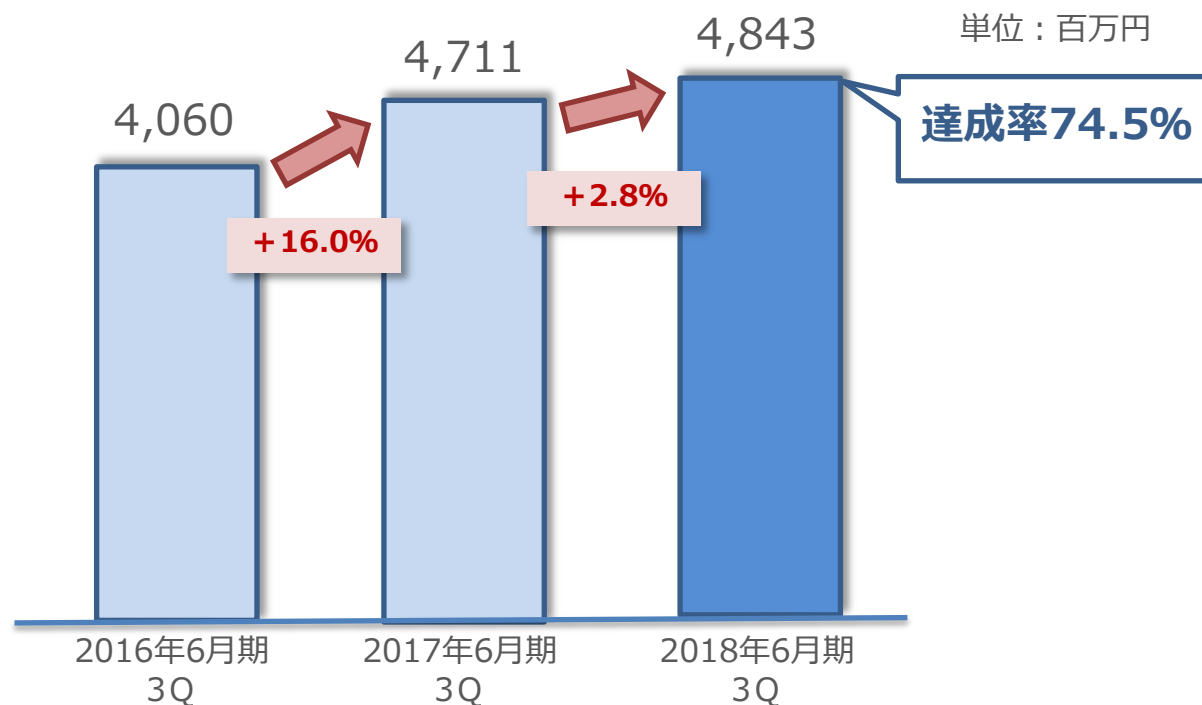
セグメント別 売上構成比率の推移

- エンベデッドソリューション事業が大きく伸長
- 成長分野である自社商品の比率が着実な増加傾向を示す



売上高：4,843百万円／前年同期比：+2.8%

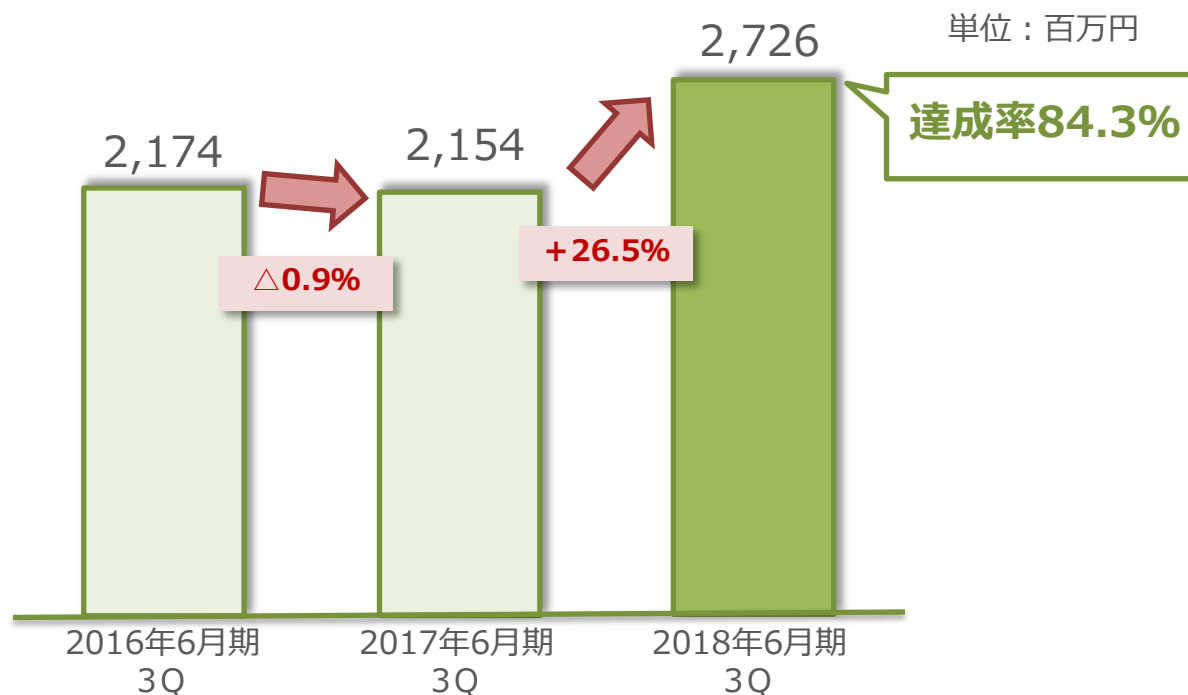
- 金融系業務システム開発事業が堅調に推移
- 運用サポート事業が堅調に推移
- 医療/製薬系システム開発が大幅に進展





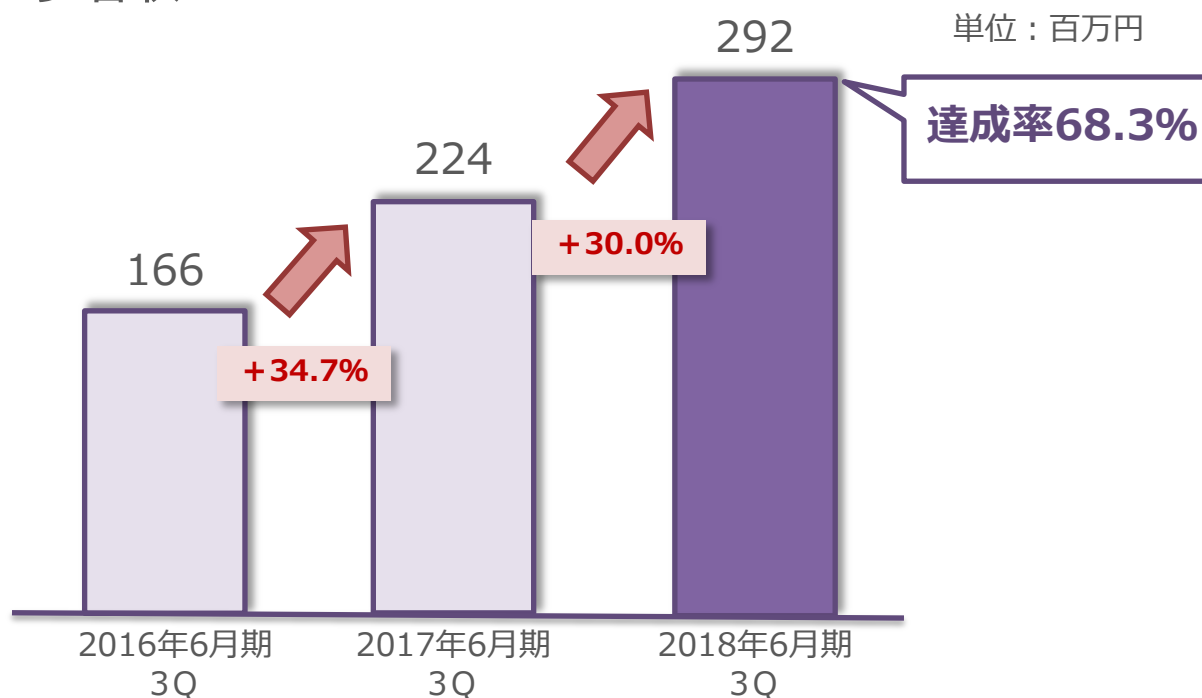
売上高：2,726百万円／前年同期比：+26.5%

- 車載開発の需要が好調により増収
- I o T 向けのモバイルアプリ開発が伸展
- 半導体関連の組み込み開発の受注が増加



売上高：292百万円／前年同期比：+30.0%

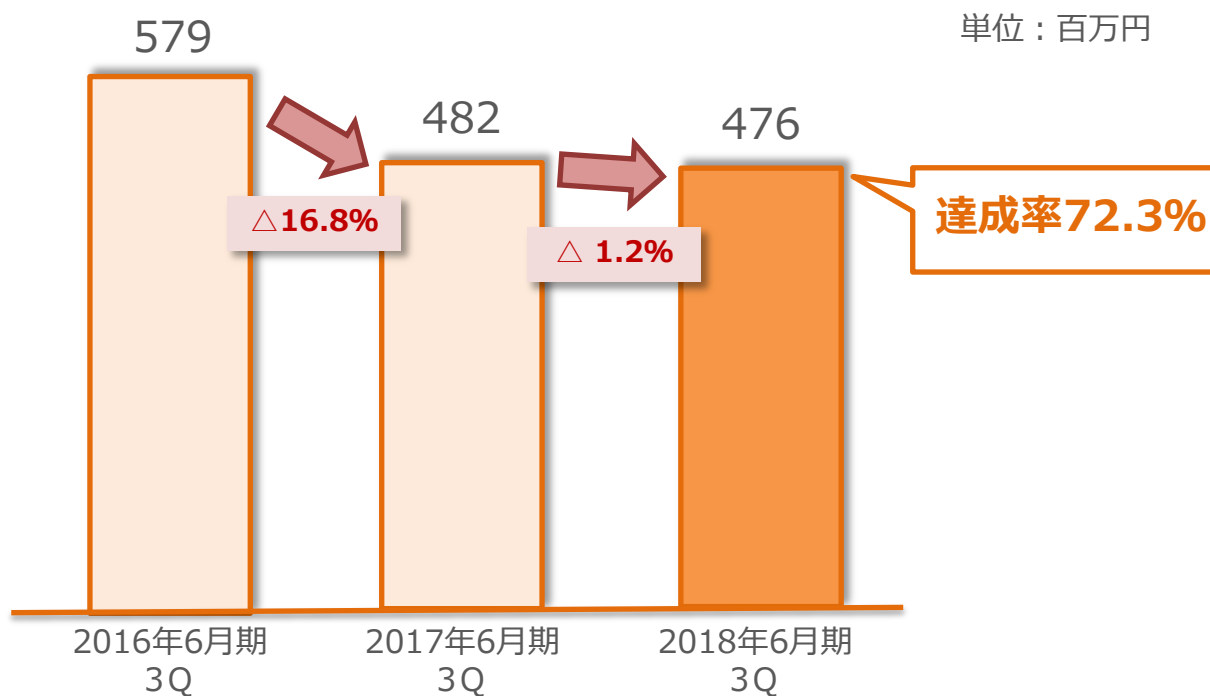
- 【WebARGUS】製品の機能拡張及びシリーズ化により、大手企業への導入が段階的に進展
- 【xoBlos】製品のシリーズ化、働き方改革の有効ツールとしての認知度の向上を背景に、案件数の大幅な拡大により増収



売上高：476百万円／前年同期比：△ 1.2%

■ 楽一（※）販売が、前年並みで推移

※ 楽一とは カシオ計算機株式会社製の中小企業向け業務支援及び経営支援の基幹システムです。



■ 自己資本比率は前期末水準で、引き続き健全な財務体質を維持

(単位：百万円)	2017年6月期	2018年6月期 第3四半期	差額
総資産	3,713	3,990	+276
流動資産	3,139	3,384	+244
固定資産	574	605	+31
負債	1,299	1,453	+154
純資産	2,414	2,536	+121
自己資本比率	65.0%	63.6%	△1.4pt

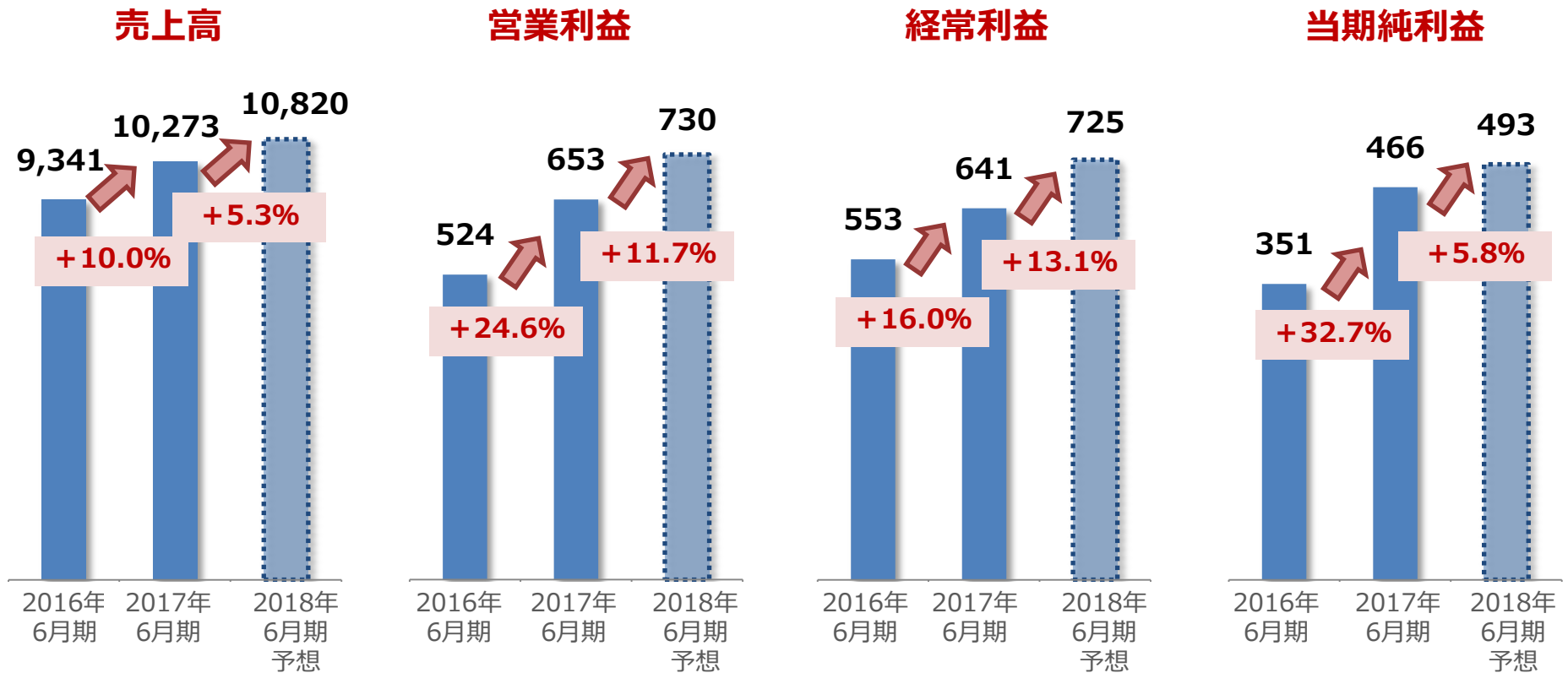
- 二桁増収増益。売上高の増加に伴い、営業利益・経常利益・四半期純利益が過去最高益を達成
- ビジネスソリューション事業：金融系業務システム開発は堅調に推移、医療製薬系システム開発が大幅に進展。運用サポート事業は堅調に推移
- エンベデッドソリューション事業：車載関連が順調に伸長。モバイル関連のアプリ開発や各種半導体関連の組み込み開発の受注増加もあり、力強く成長
- 自社商品事業：「WebARGUS：ウェブアルゴス」と「xoBlos：ゾブロス」が順調に伸長
- 中間配当10円を実施
- 2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施

1. 事業の概要
2. 2018年6月期第3四半期 決算概要
- 3. 2018年6月期 重点施策と
通期連結業績予想**
4. 参考資料

施策の柱	第3四半期までの実績	今後の打ち手
堅固な事業基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車載系の案件は大幅に拡大、金融系については下期拡大につながる案件の受注を確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ それぞれ強みがある金融系、車載系等の領域で、案件規模の拡大を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存顧客へのセキュリティ商材展開が順調に推移。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 蓄えたSIノウハウや運用サービスと自社商品を組み合わせた新たなビジネスを開拓する
成長領域への経営資源の集中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車載通信、セキュリティ関連分野の案件拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場成長が著しい自動車関連分野（自動運転、車載通信機器、セキュリティ）に注力
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複数のクラウド構築案件、AI関連、ブロックチェーンの開発案件受注 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 蓄えた知識・技術を最先端分野（クラウド、IoT、フィンテック等）へ展開
自社商品を軸とした新しい価値の提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ WebARGUSエンタープライズ版をリリース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大規模ユーザーへの導入促進とIoT版の商品化
	<ul style="list-style-type: none"> ■ WebARGUS Fortifyの販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ セキュリティ商品多角化による営業力強化
	<ul style="list-style-type: none"> ■ xOBlosを核とした予算実績ソリューションの販売開始 ■ Excel業務イノベーションプラットフォーム新時代へ！ xOBot（ゾボット）の販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ xOBlosを核としたソリューション商品をシリーズ化して提供

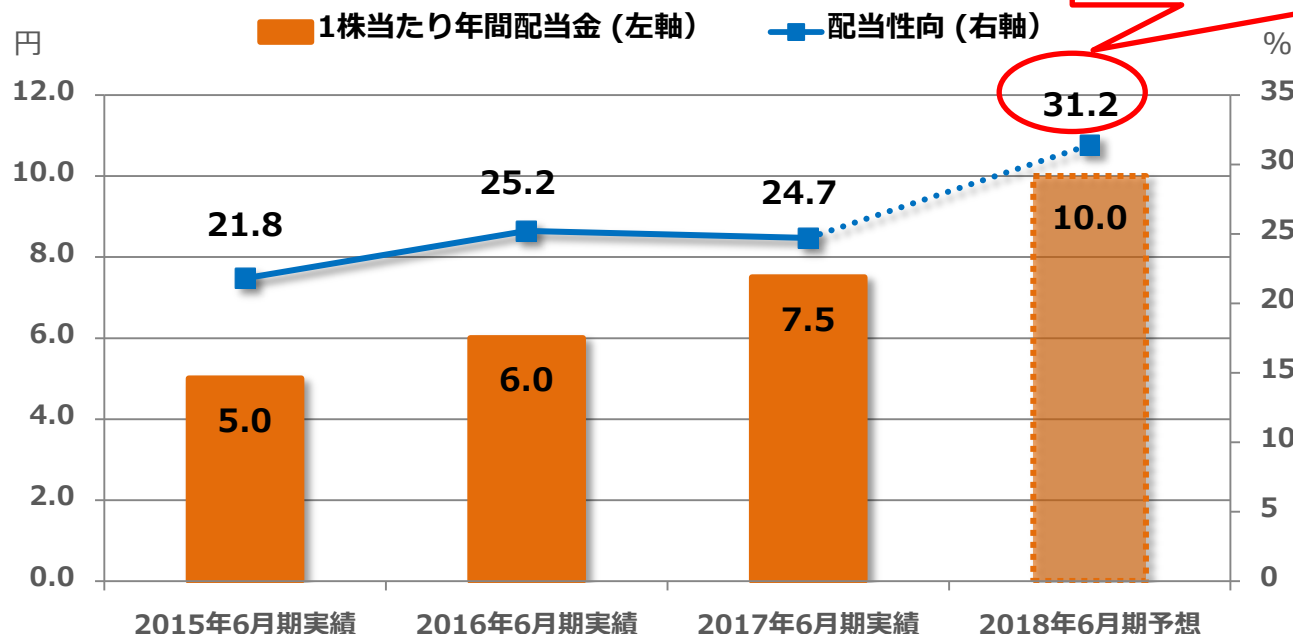
■ 期初予定通り売上、利益とも過去最高を更新予定

単位：百万円



- 株主還元を重視し、配当政策を変更
成長への投資と内部留保を踏まえ、利益還元を実施(連結配当性向30%以上へ)
- 成長に合わせ機動的に自社株買い入れや増配など株主還元策を実行
- 2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施
これに伴い、2018年6月期の期末の1株当たり配当金は5円を予想
- なお、株式分割を考慮しない場合の2018年6月期（予想）の期末の
1株当たり配当金は10円、中間配当10円と合せた年間配当は20円
- 予想連結配当性向31.2%

配当金、配当性向の推移



連結配当性向30%以上へ

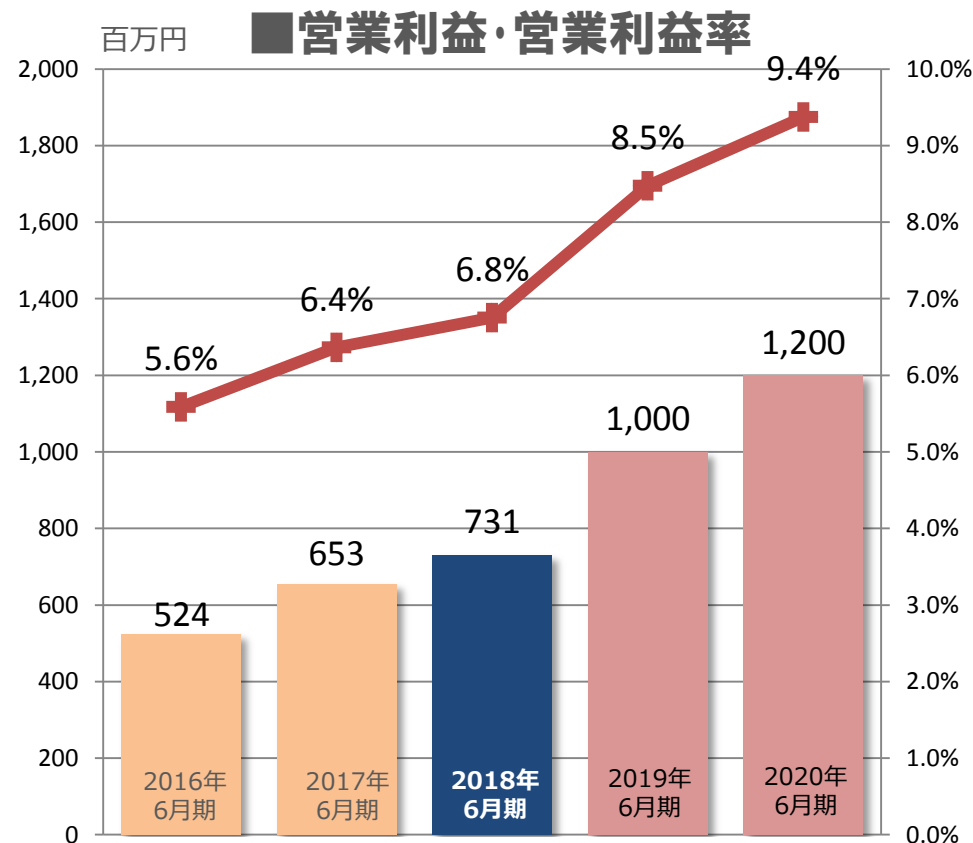
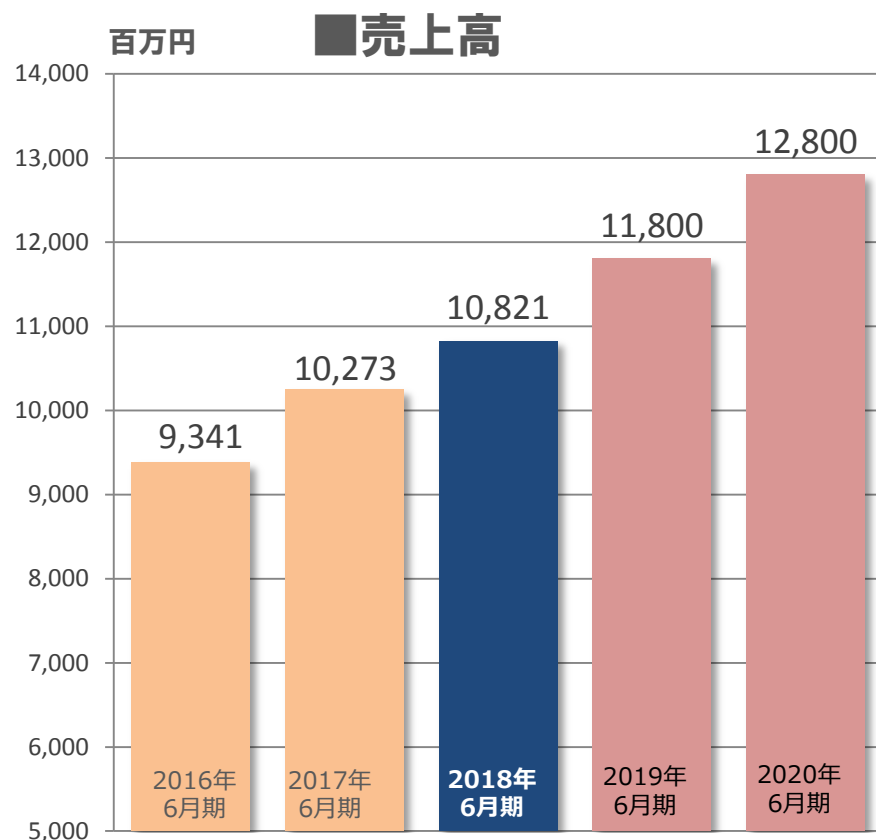
- ※1 2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。
1株当たり年間配当金、および1株当たり当期純利益は遡及修正した数値です。
- ※2 2017年8月に自己株式7万株を買入れました。

	2015年6月期実績	2016年6月期実績	2017年6月期実績	2018年6月期予想
1株当たり年間配当金 (円)	5.0	6.0	7.5	10.0
1株当たり当期純利益 (円)	22.93	23.80	30.34	32.06
配当性向 (%)	21.8	25.2	24.7	31.2
自己株式買入額 (百万円)	—	—	—	136.6
総配分性向 (%)	21.8	25.2	24.7	58.7

1. 事業の概要
2. 2018年6月期第3四半期 決算概要
3. 2018年6月期 重点施策と
通期連結業績予想
- 4. 参考資料**

中期計画 連結売上・営業利益計数サマリー

中期目標 4年以内に トリプル10 を目指す	売上高	100億円 (2017年6月期)・・・ 達成!
	営業利益	10億円 (2019年6月期)
	営業利益率	10% (2021年6月期)



商号	デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
業界	情報サービス産業
従業員数	957名（連結2017年6月末時点）
売上高	102億7,300万円（連結2017年6月期決算実績）
代表取締役社長	市川 憲和
設立年月日	2002年1月4日（創業1982年7月）
資本金	4億5,315万円（2017年6月末時点）
決算期	6月
拠点	拠点：東京都中央区、川崎、大阪、松山、仙台 子会社拠点：東京都豊島区、横浜、千葉、君津、高崎、カンザス（2017年6月末時点）
市場／銘柄コード	東証一部／3916



とは：たとえ**防御が突破**されても**ウェブ改ざん**状態をほぼ**ゼロ**に
ウェブ改ざん **瞬間検知・瞬間復旧** ソフトウェア

<ウェブアルゴス>



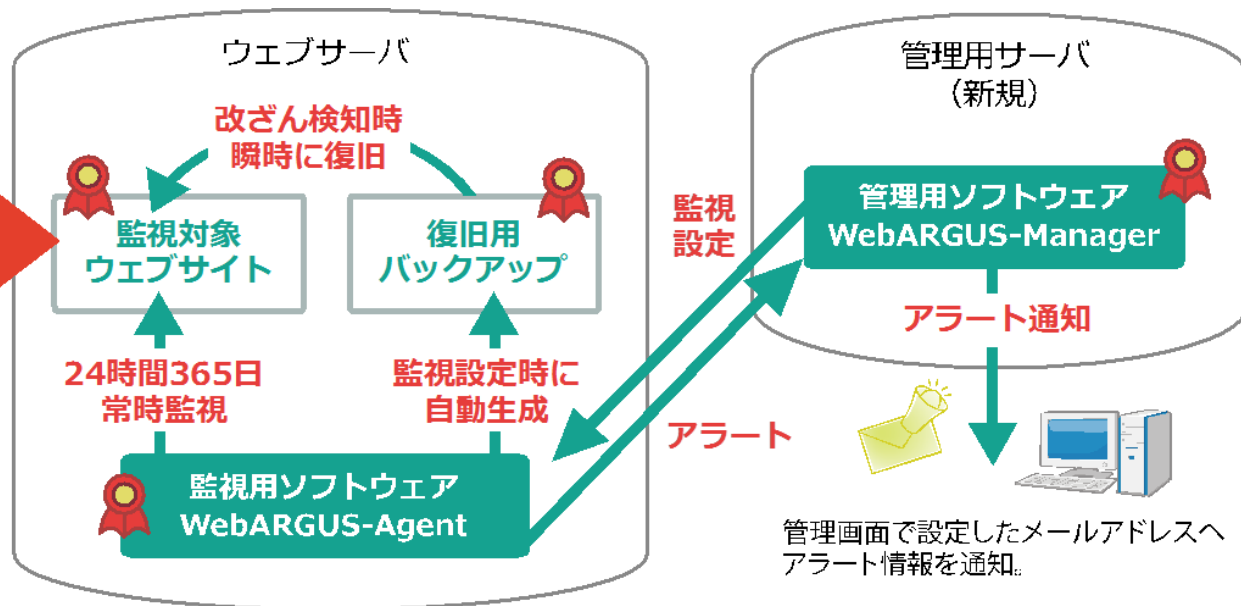
悪意のある攻撃者

改ざん!

- 不正アクセス
- 内部犯行...



製品本体や監視対象コンテンツ
復旧用バックアップデータは
ハッシュ値を電子署名で保護し
真正性を担保しています。



改ざん状態を
1秒未満で自動復旧

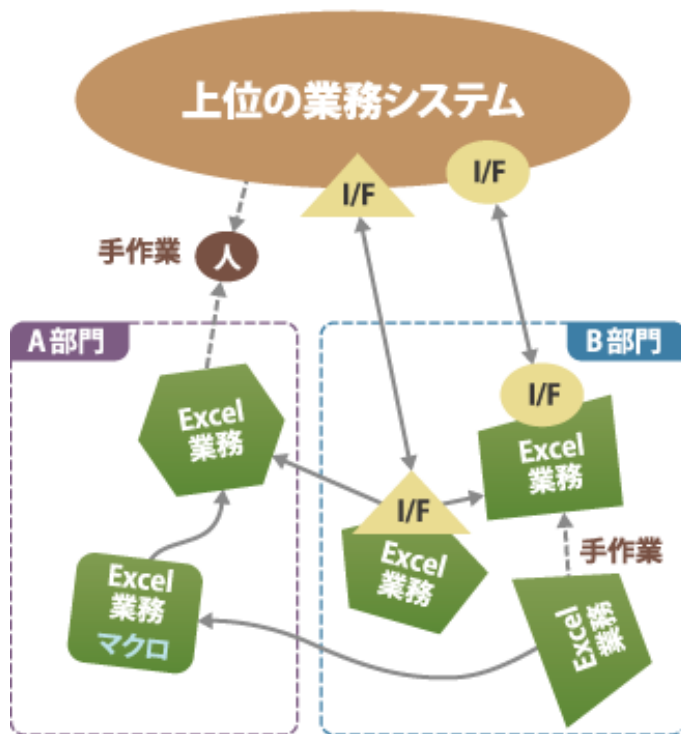
ウェブサーバ内の
設定ファイルや
実行モジュールへの
改ざんにも対応

防御製品が対応できない
手口や内部犯行も
瞬間検知・瞬間復旧

ソブロス
xoBlos
(ソブロス)

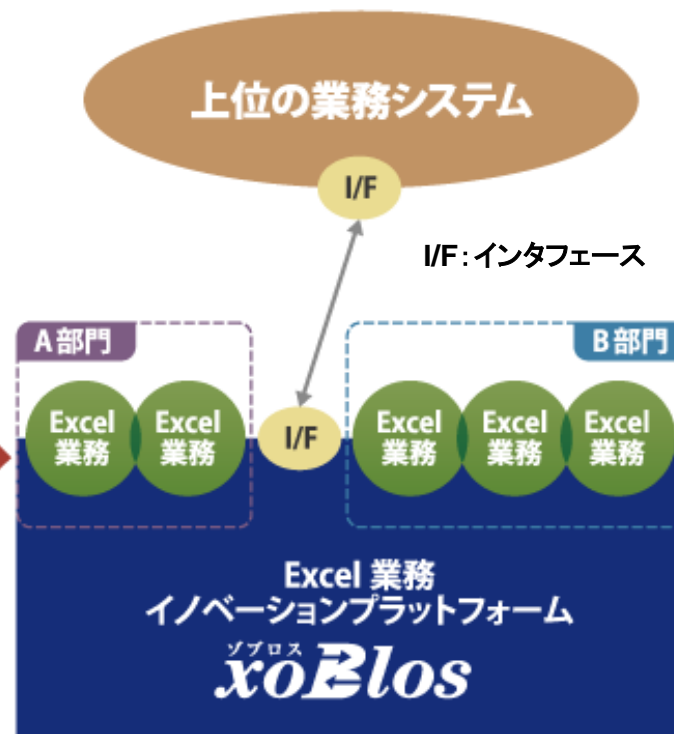
とは：データ活用業務を革命的に改善する
エクセル業務イノベーションプラットフォーム

多くの企業で見られる状況



様々な Excel 業務が社内に氾濫!!
業務効率が低下

xoBlos 導入の企業



Excel 業務がすっきり連携!!
業務効率を大幅アップ



デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

経営企画本部 I R 部 榎本

TEL 03-6311-6532 FAX 03-6311-6521

E-mail : ir_info@ditgroup.jp

- ・この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらはリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。